

議会だより

ふそく

第245号

9月定例会

7月臨時会



目次

- 令和元年度決算認定・・・ 2・3P
- 重点施策、主な事業・・・ 4・5P
- 補正予算の概要、臨時会・・・ 6P
- 議員別審議結果一覧表・・・ 7P
- 一般質問・・・ 8P～21P
- お知らせ・・・ 22P

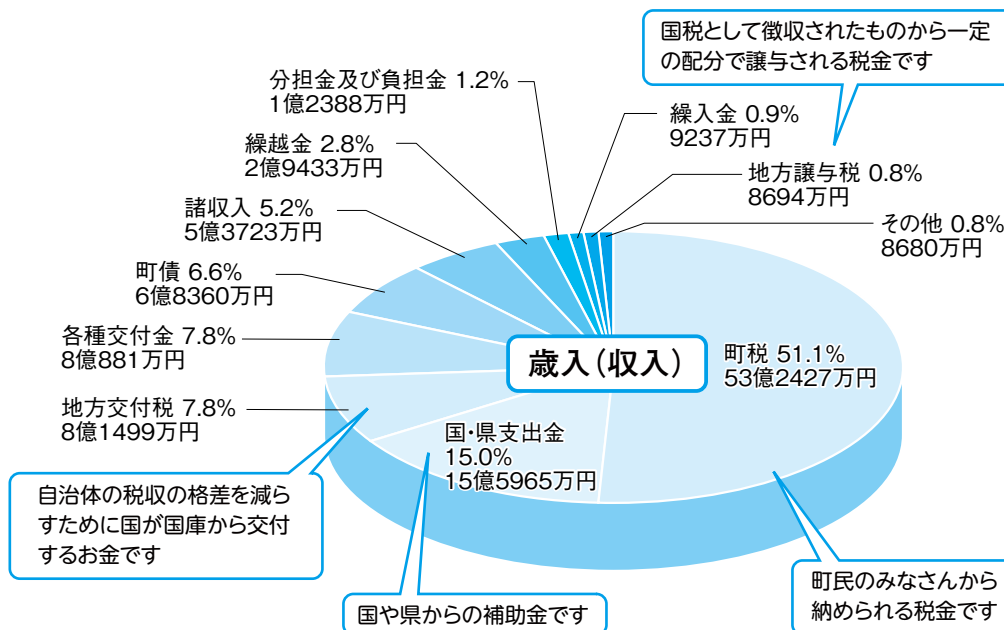
敬老訪問 100歳のお祝い(対象者9名)

発行／扶桑町議会 編集／議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL：0587-93-1111 FAX：0587-92-1381 E-mail:gikai_sc@town.fuso.lg.jp 発行日／令和2年11月1日

決算を認定

一般会計決算状況 歳入合計 104億1287万円(前年比3億8157万円減)



令和2年8月31日から9月25日まで9月定例会が開催されました。

今回の定例会では令和元年度一般会計を始めとして各特別会計の決算認定案が提出され、審議の結果、全会計とも原案どおり認定しました。

令和元年度会計別歳入・歳出

会計区分	歳入金額	歳出金額	差引金額
一般会計	104億1287万円	100億1878万円	3億9409万円
特別会計			
土地取得	280万円	0万円	280万円
国民健康保険	30億3104万円	28億8654万円	1億4450万円
介護保険	24億1295万円	23億3598万円	7697万円
後期高齢者医療	4億9665万円	4億9575万円	90万円
合計	163億5631万円	157億3705万円	6億1926万円

令和元年度公共下水道事業会計

公共下水道事業	収入金額	支出金額	差引金額
収益的収支	3億6065万円	3億4630万円	1435万円
資本的収支	5億3609万円	5億0990万円	2619万円

財務状況

令和元年度決算総額は、前年度に比べ、歳入12億9085万円、歳出12億6712万円が減少した。一般会計も前年度に比べ、歳入3億8157万円、歳出4億8132万円が減少した。歳入のうち町税は前年度に比べ7.3%増、一方で国庫支出金、県支出金、繰入金、地方債などは減少した。歳出のうち衛生費、教育費は増加し、総務費、民生費、土木費は減少した。

決算の概要

住民の暮らしを応援する姿勢が不足！

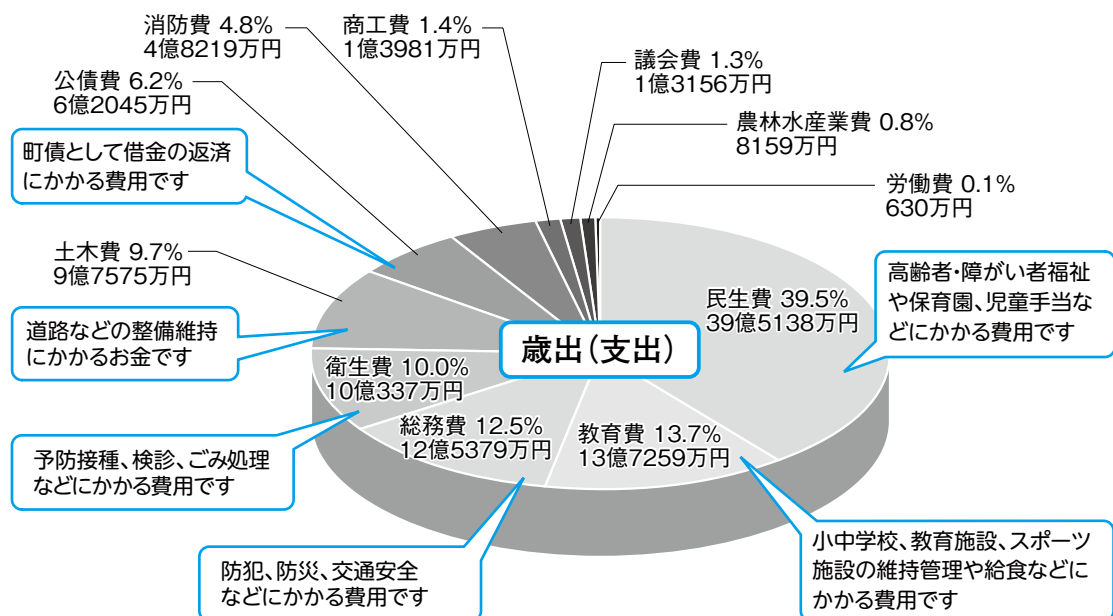
高木義道 議員

放課後児童クラブ専用棟の建設など一部の施策については評価する。しかし、ひとり親家庭の医療費、母子・父子家庭医療の改善、高すぎる国民健康保険税、保険あつて介護なしの介護保険を解消する施策に乏しい。18歳までの医療費無料制度拡大、国民健康保険税の均等割、所得の低い世帯に対する軽減策を実現して、暮らしを守ることが必要である。新愛岐大橋建設・高雄東部開発など、将来負担の大きい、住民合意が不十分な大型開発ではなく、子ども・高齢者・障害者にやさしい生活道路の整備、高齢者の自動車運転免許返納を支援する制度創設、巡回バスの運行など住民の暮らしを守り、生活を応援する姿勢が不足している。扶桑町に生まれてよかった、住んでよかったが実感できる、住民が主人公の町政を推進した決算とは認めることができない。

反対討論

令和元年度

一般会計決算状況 歳出合計 100億1878万円(前年比4億8132万円減)



主な事業

中学校空調整備



町内各中学校 エアコン設置

雨水貯留槽整備



斎藤 座敷野地内雨水貯留施設

総合防災訓練



住民参加型防災訓練風景

安全・安心な生活確保を評価！
大河原光雄 議員
庁舎改修工事や、災害対策室の新設での防災支援システムの導入など、安全、安心なまちづくりに努めたことは評価される。民生費では、放課後児童クラブ館の6年生までの拡充や、定期接種再接種費用の助成、衛生費では将来の広域ごみ処理施設整備としての基金や、環境美化センター解体事業基金の積み立てがある。商工費では、プレミアム付き商品券の発行での商工会への補助とともに、創業支援なども期待する。教育費では、各学習等供用施設のトイレの洋式化、スクールソーシャルワーカーの設置等、施設利用と学習環境の向上に努められたと評価する。限られた財源で最大の効果を発揮できるよう、一層の財政健全化に向けた取り組みで、事業遂行に努めていただくことを申し添える。

賛
成
討
論

策・主な事業内容は まちづくり

総務建設常任委員会では

災害対策室の新設

迅速な避難対応や適切な避難判断防災支援システムの導入。



ふるさと寄付金事業は

問 ふるさと寄付金が減っているが、ふるさと寄付金の委託料が高いのでは。

答 制度も変わり、寄付件数も減となり委託料も影響している。

公共施設のトイレ整備

多目的トイレにオストメイトを設置。



住宅侵入防犯対策の補助金開始

センサーライト、住宅カメラ付きインターホンなどの補助金



安全な街を目指して

問 自転車のイヤホンや傘さしなどのながら運転がある。防止啓発の考えは。

答 交通安全啓発の期間などに合わせて実施する。

問 貯留施設管理料が高くなったのはなぜ。

答 雨水をくみ上げるポン

プの更新の数が増えたためである。

下水道整備事業は

問 令和7年以後でも市街化調整区域の整備は無理か。

答 市街化区域を優先整備している。今、検討しているので明確には回答できない。

問 他市町で、浄化槽再利用に対して補助制度がある。本町でも検討できないか。

答 貯留タンクの考えもあり、他の課も関わり相談しながら検討する。

当総務建設常任委員会への付託案件は、議案8件、認定案3件審査しました。

令和元年の重点施 安全・安心な

福祉文教常任委員会では

精神障害者に対する
入院治療費を全額助成

助成割合を2分の1から全
額助成に。

次代と豊かな心を
育むまちづくり

スクールソーシャルワ
ーカー（教育と福祉に関する
専門職）の設置

子育て支援の充実

問 放課後児童クラブの対
象年齢延長は。

答 放課後児童クラブに入
れる対象年齢が、小学1年
生から6年生までに。



公共施設の現状

問 学習等供用施設のトイ
シ洋式化は。

答 全体で48台のうち洋式
30台、和式18台、洋式化は
62・5％に。

問 町民プールの経年劣化
で今後の方向性は。

答 竣工後47年経過し老朽
化が進んでいる。今後は継
続が難しくなってきた。



問 児童館建設工事設計委
託料は、1から設計をやり
直すようにみえるが。

答 保健センターの切り離
し、建物形状の直線化、1
か所を屋外階段、造り付け
家具を備品に、仕上げ材の
見直しや防球ネットの設置
等を予定していて、ほぼ1
からの設計になる。

当福祉文教常任委員会への
付託案件は、議案10件、認
定案4件、請願1件、陳情
1件審査しました。

補正予算等の概要

一般会計補正予算(8号)

歳入歳出それぞれ3億4125万円を減額し、主な内容は、次のとおりです。

歳入(2万円未満切り捨て)

町民税の減額

▲1億839万円

法人町民税の減額です。

普通交付税

1億1405万円

基準財政需要額が見込みよりも多かったことなどによる増額で、普通交付税予算額は8億6905万円となります。

児童福祉債の減額

▲3億790万円

児童館建設事業債の減額です。

歳出(2万円未満切り捨て)

庁舎管理費

85万円

庁舎消毒業務を委託します。

戸籍住民基本台帳事務費

1213万円

デジタル手続法改正による国外転出者マイナンバーカード利用対応の委託料です。

町民まつり事業費

▲280万円

コロナウイルス感染症拡大防止による事業中止です。

敬老事業費

▲232万円

コロナウイルス感染症拡大防止による敬老観劇会・金婚式の中止です。

新型コロナウイルス感染症緊急包括自立支援事業費(保育所)

341万円

保育所に感染症防止用アクリル板・サーマルカメラ7台を設置します。

新型コロナウイルス感染症緊急包括自立支援事業費

418万円

放課後児童クラブに感染症防止用の非接触体温計・空気清浄機・玩具殺菌保管庫・パーテーションを設置します。

(仮称)多機能児童館建設工事
設計委託料 1970万円

(仮称)多機能児童館建設工事
設計委託料です。

(仮称)多機能児童館建設工事
▲4億851万円

(仮称)多機能児童館建設工事
事見直しの減額です。

小学校校舎施設営繕工事費

614万円

高雄小学校の体育館雨樋改修工事・西下駄箱防水改修工事と山名小学校の体育館雨樋改修工事です。

各種大会開催事業費

▲275万円

コロナウイルス感染症拡大防止による体育祭・走ろう会・ソフトボール大会等の事業中止です。

町民プール管理運営費

▲518万円

コロナウイルス感染症拡大防止による町民プール開設中止です。

教育委員会委員の
任命に賛成全員で同意

扶桑町教育委員会委員

江口 夏世 さん

(柏森在住)

7月臨時会開催

ミーム商品券の発行等)行うため補正するものです。

一般会計補正予算(7号)

令和2年7月8日(水)、27日(月)に臨時会を開催し、一般会計補正予算(第6号)(第7号)の審議を行いました。

一般会計補正予算(6号)

歳入歳出それぞれ1億5840万円を追加し、主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(2次補正分)を受けて、新型コロナウイルス感染症防止対策事業(空気清浄機、トイレ手洗い自動水栓取替工事、サーマルカメラ、各小中学校に移動式エアコン設置やプ

歳入歳出それぞれ1億2304万円を追加し、主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(2次補正分)を受けて、新型コロナウイルス感染症防止対策事業(資源ごみ回収拠点整備、高収益作物次期作支援交付金、持続化給付金、中小企業等家賃補助、小中学校修学旅行等キャンセル料金補助等)を行うため補正するものです。



中央公民館内



歳入歳出それぞれ2648万円を追加し、主な内容は、65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種委託料1442万円とコンビニにて、マイナンバーカードを利用することにより住民票や印鑑登録証明書を交付する実証事業対応委託料1100万円です。

一般会計補正予算(10号)

歳入歳出それぞれ373万円を追加し、主な内容は、住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金253万円と高木東児童遊園の廃止に伴う遊具等撤去工事費129万円です。

一般会計補正予算(9号)

令和2年第6回(9月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ											共産党	日本	公明党	賛成クラブ	無所属
			伊藤 猛	大河原光雄	兼松 伸行	小室 輝義	近藤 裕	澤田 憲宏	杉浦 敏男	千田 勝文	丹羽 友樹	間宮 幹男	和田 佳活	高木 義道	荒木 孝三	佐藤智恵子	千田 利明	矢嶋 恵美
◆承認																		
第1号	令和元年度扶桑町一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○※	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●※	●	○	○	○
◆陳情																		
陳情	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●※	議長	●	●	●	●	○※	○	●	●	●

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 ー：議長は採決に加わらない。※：討論者

討論

私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書

反対

(桑政クラブ 澤田憲宏議員)
本町の所得制限なしの限度額1万6千円は近隣市町と比較しても手厚いものであり、愛知県では2020年度4月から、モデルケースでは年収720万円までの方に授業料と入学料を無償化して、私学に学ぶ方々への支援を手厚くしていると考え、この陳情には反対する。

賛成

(日本共産党 高木義道議員)
愛知県では年収720万円まで授業料、入学金が無償ですが、施設整備費等は無償化の対象ではありません。私学助成については国・県の役割は重大ですが、すべての子どもが等しく教育を受ける権利を保障するために、市町村独自の授業料助成制度の維持・拡大が、本陳情の趣旨です。教育の機会均等の理念に基づき、私立高校生を応援する立場で、本陳情は採択すべきと考えます。

可決した意見書

- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- 介護施設のコロナ対策特例措置の見直しを求める意見書
- 新しい時代の学習環境として少人数学級の実現を求める意見書

★ 意見書の全文は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)に掲載しています。 ★

その他の陳情書

- 多機能児童館の早期着工完成を求める陳情書
審査した結果を議長に報告し要望書を町長に提出しました。

町政を問う

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。



質問者	件 名	ページ
澤田 憲宏	本町の水害対応について(他2項目)	9
和田 佳活	予算編成の過程について(他2項目)	10
佐藤智恵子	ICTの環境整備の推進を(他1項目)	11
大河原光雄	新型コロナ対策を踏まえた町政運営について(他1項目)	12
間宮 幹男	防災行政について(他1項目)	13
伊藤 猛	青木川工事進捗状況について(他1項目)	14
近藤 裕	雨水貯留施設整備計画と今後の対策について(他1項目)	15
矢嶋 恵美	保育園の使用済おむつの持ち帰りについて(他1項目)	16
荒木 孝三	新型コロナウイルス感染症について(他1項目)	17
千田 利明	行政に求められているものについて(他1項目)	18
兼松 伸行	本町の防犯対策について	19
千田 勝文	ごみ処理・分別収集計画について	20
高木 義道	児童館について(他2項目)	21

9月7日・8日
13議員が登壇し、
一般質問を行いました。



桑政クラブ

澤田憲宏 議員

災害時の各地区との 双方向通信方法は

答

現時点では確立されていない

問 7月8日の早朝豪雨の被害状況は。

答 総務部長 床下浸水1件、マンホールのふたのずれ、倒木や枝が折れたことによる道路の閉鎖、道路の陥没などが見られた。また、道路冠水は、前利神社周辺、サングリーンハウス周辺、柏森保育園周辺、南山名逆巻交差点、悟溪寺周辺で見られた。

問 事前の被害想定や把握は過去実績をいかせているか。

答 総務部長 内水氾濫の浸水想定区域などハザードマップに反映されている。

問 GIS（地理情報システム）を使った凹地の道路冠水などの予測は。

答 総務部長 GISの地形情報から道路冠水場所を想定することはできると思われるが、導入における費用対効果など今後の検討・研究課題とする。

問 災害時の各地区との双方向通信は。

答 総務部長 各避難所と災害対策本部とは可能だが、各地区とは現時点で確立されていない。

児童遊園について

問 現在の利用状況は。

答 健康福祉部長 町として把握しているデータはない。地区への聞き取りは必要に応じて実施する。

問 遊具やトイレの管理基準は。

答 健康福祉部長 遊具は年2回の保守点検業務を業者に委託し、修繕や改修を行っている。トイレは清掃など日常的な維持管理を地区に委託している。施設の修繕、し尿の汲み取り、上下水道の使用料は町が負担している。

問 今後の在り方は。

答 健康福祉部長 少子高齢化や遊び方の変化により児童遊園で遊ぶ子供



北新田児童遊園

たちの数は少なくなっている。今後は統廃合の基準や方向性を示しながら、地域や子供たちのニーズを踏まえた児童遊園を目指していく。

健康促進活動について

問 ふそう健康マイレージの現状は。

答 健康福祉部参事 前年度は233名の方にチャレンジいただき、40名が「まいかカード」を受け取られた。一昨年度は51名。自らが参加して行う健康増進事業として愛

知県と連携して実施している。

問 ウォーキングアプリとして愛知健康プラスの導入は。

答 健康福祉部参事 あいち健康マイレージ事業と連携したスマホ対応のアプリと聞いている。日々の歩数記録、健康目標の設定、体重・血圧の記録など生活習慣の改善及び健康管理を支援するものであり、当該事業については近隣市町の動向を見ながら調査研究を進めていきたい。

予算編成のプロセスの開示は



桑政クラブ
和田佳活 議員

答 予算編成方針の公表から検討する

問 扶桑町予算決算会計規則により、総務部長が予算編成方針を定め、9月末頃に各部長・課長に通知している。方針の内容に関して数値が優先して、政策的方針が希薄になるのではないかと。

答 総務部長 総務部長と事務担当で検討し、町長との協議を行い、政策的方針を反映した予算編成方針を作成し、町長の決裁を得たうえで、方針を定めている。

問 予算編成に係る多くの権限を各担当部に委譲することにより、効果的かつ効果的な行政運営、自主性・自立性の確保並びにコスト意識の向上を図ることができ、枠配分方式の手法にて予算編成がされているが、手順と優先順位はいかがか。

答 総務部長 毎年必要となる経常経費で、各部署内において、見直しや検証が可能な経費について、部を単位として総額

で配分している。経常経費の増大を抑制するとともに、各部署において、枠配予算の範囲内において、前例にとらわれることのない柔軟な予算編成につなげていきたい。

問 予算編成方針、査定前後報告、成果などプロセスを住民・議会に開示する予定はあるか。

答 総務部長 各部署からの予算要求を受け、政策調整課によるヒアリング、総務部長査定、予算裁定委員会、町長査定を経て予算案を決定し、議会に提案している。予算編成過程については、これまで住民・議会に対して公表はしていない。予算編成に当たっての町の考えを明確にし、透明性を図る観点から、予算編成方針の公表から検討したい。予算編成過程の公表については、今後の研究課題としたい。

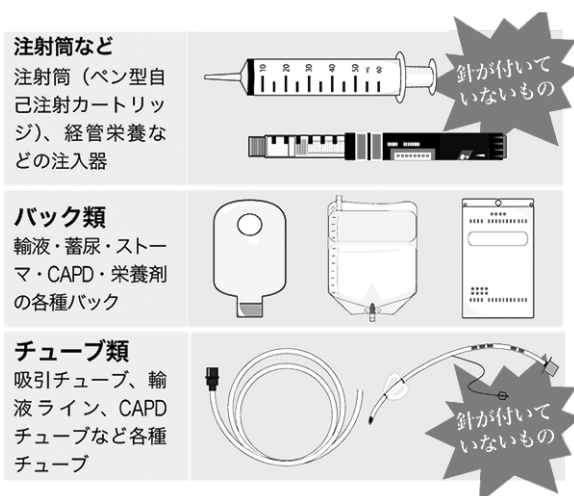
在宅医療廃棄物からみるプラスチック類処理方法

問 在宅医療廃棄物にはビニールバック類、チューブ類、注射筒があり、非感染性のものとして回収している。他市町との処理方法に相違があるがどのようか。

答 産業建設部長 江南市、大口町、扶桑町では、回収した在宅医療廃棄物は、委託業者において焼却処分している。犬山市では、可燃性ごみとして収集し、焼却処分をしている。

問 新ごみ処理施設におけるプラスチック類の処理方法方針は。

答 産業建設部長 廃プラスチック類については、焼却処分の方向で検討が進められている。在宅医療廃棄物は、処理方法と合わせて協議されるものと思う。今後プラスチックの分別方法については、2市2町とも情報交換をしながら検討を進めたい。



在宅医療廃棄物



公明党
佐藤智恵子 議員

見やすいホームページに

【答】 令和3年度再構築、 令和4年度リニューアル



ICTの環境整備を

問 新型コロナウイルス感染症の影響でHPのアクセス数が急増していると思うが、今年のアクセス数は。

答 総務部長 昨年の年間アクセス数が29万5475件に対して、今年は4～8月だけで約35万件超であった。

問 スマホ利用者も増え、町HPはスマホ対応になっていないので見づらいつとの声を聞く、HPのリニューアルの予定は。

答 総務部長 令和3年度に再構築し、令和4年度より新しいホームページの公開を予定。その際、

スマホ対応を実施していきたい。

問 最近ではラインなどSNSの公式アカウントを取得して、町政情報を災害や緊急時の情報を発信している自治体が増えてきたが、導入の考えは。

答 総務部長 先行導入している市町の状況を確認しながら導入に向けて検討していく。

問 公共施設のWiFi整備は。

答 総務部長 災害時の情報収集や観光客への情報提供手段として公共施設でのWiFiが注目されているが、導入による利便性向上とセキュリティ

ティ対策や費用面の観点から、今後も研究していく。

問 AIを活用した総合案内サービスの内容、メリットは。

答 総務部長 住民問い合わせ対応のチャットボットであるAIを活用し、総合案内サービスを提供。質問事項を入力すると自動的に回答が表示される。メリットとしては、24時間365日間合

せが可能なことや定型的な問い合わせであれば正確かつ迅速な対応が可能となる。

コロナ禍における高齢者支援は

問 コロナ感染防止の対応で、介護サービスを利活用できなかったり自粛したことで、外出の機会や活動量が減り、認知機能身体的機能低下が懸念される。今年の介護認定の申請状況、介護給付費の状況は。

【答】 健康福祉部参事 介

護認定申請は、同時期の申請数とほぼ横ばい。介護給付費については減少傾向がみられる。今後このような傾向が継続するか予測はできないが、東日本大震災後に要介護認定者が増加したとの報告もあることから注視していく必要があると認識している。

問 外出が制限される中での活動支援は。

答 健康福祉部参事 感染予防対策をしっかりと行つたうえで、認知症予防教室はつらつ教室を10月から、運動栄養口腔総合教室（元気アップ教室）を11月から実施する予定。



来年度の町主催行事の 開催判断と予算対応は



桑政クラブ

大河原光雄 議員

答

従来どおりの事業計画による
予算積算とする



2018年の町民体育祭の様子

問 本町の新型コロナ対策から、本町経済への影響はどのようなものになると予想しているのか。また、今後の税収など、財政に与える影響をどのように捉えているのか。

答 町長 町内飲食店では、テイクアウトや新しい生活様式への対応などで営業努力されている中、売り上げが減少している事業者が多くある。消費の落ち込みによる地方交付税交付金の減少や個人住民税、法人税の大幅な落ち込みが見込まれ、来年度の町財政は大変厳しいものになると認識している。

問 来年度の予算編成に当たって、経済状況の回復に時間を要すると判断する場合、町としての様々な経済対策を検討するのか。

答 総務部長 施策として、町単独の事業は今後の税収を考慮すると厳しい面がある。各部署からの施策の提案で町民の暮らしを守るため、必要により予算を投入していく。

問 来年度以降に計画されている町主催の各種行事の実施計画の見直し（中止・延期等）をどのように検討しているのか。その判断基準と予算の対応は。

答 総務部長 感染防止対策が確実に行えるといった観点から、事業担当課ごとに開催・中止の判断をしている。来年度の主催事業の方向性は「従来どおり」または「新たな形で実施」などを検討するが、多くの事業では、従来どおりの事業計画による予算積算になる。

問 今後のウィルスなどの防疫対策は、一般的な災害時に比べ、PCR検査や抗体検査などで保健所や病院体制など、市町を跨ぎ、広域にわたって連携を取ることが重要と考えるが。

答 健康福祉部参事 感染拡大を防ぐ上で、PCR検査体制の充実、医療機関での受け入れ態勢など多くの課題がわかってきた。近隣の市町や尾北医師会など、関係機関が

問 本町小中学校の各種行事や地域との交流、部活動の対外試合など、児童生徒の思い出づくりについてどのように考えているか。

答 教育長 大切な行事として修学旅行や野外学習・自然教室を捉えており、可能な限り行う予定でいる。部活動の対外試合や地域活動は、地域の感染レベルが「レベル1」に下がれば解禁を検討する。

問 最終学年以外の学習内容の一部を、次年度以降に繰り越すことを特例で認めるとした文科省通知から本町の現状は。

答 教育長 小学校は前期終了まで、中学校も10月ごろまでには従来の進度になる見通しが立っている。

問 コロナ禍での学習環境は



桑政クラブ
間宮幹男 議員

老人クラブ連合への活動支援は

答 社協と一体になって進めていきたい

問 老人クラブ連合の必要性は。

答 健康福祉部参事 現在、町内に20の単位老人クラブが存在し、その連合体として老人クラブ連合会有る。地域のコミュニティとしての役割としても、高齢者の立場を地域に反映するため、また地域で必要とする役割の一部を単位老人クラブや老人クラブ連合会が担っていたいており、地域コミュニティにとって重要な団体であると認識している。

問 現状の認識は。

答 健康福祉部参事 老人クラブ会員数は近年減少傾向であり、平成30年度1676名に対し、令和2年度1478名となっている。新規加入人数の減少及び会員の高齢化、女性比率の高い高齢者において女性会員が少ない点が課題と思われる。

問 今後老人クラブへの支援策は。

答 健康福祉部参事 各老人クラブが高齢者にとって魅力的な活動を行えるよう、例えば老人クラブの会員募集や活動を町広報誌で取り上げたり、他市町の事例について情報提供するなど、社会福祉協議会と一体となって進めていきたいと考えている。

防災リーダー養成について

問 災害時の緊急連絡網は。

答 総務部長 ①防災行政無線機の普及率は約61%であり、転入時等において無償貸与している。警報などの気象状況、災害時における避難所情報、Jアラートと連動した緊急地震速報等を行っている。②屋外スピーカーは22か所を設置している。雨音や風向きによっては聞こえない場合もあるので、戸別受信機やひまわり安心情報メールの普及

活動の啓発を図っていく。直ちに屋外スピーカーを増設する事は難しい。

問 防災リーダー養成の見通しは。

答 総務部長 地域防災リーダー養成講座は、平成29年度から令和元年度まで43名の方が修了している。今後も地域防災リーダー養成講座を継続開催し、地域防災力の向上につなげていく。

問 地域を単位とした防災リーダー養成は。

答 総務部長 大災害時にはこれまでの受講者だけでは、防災リーダーの不足から地域との連携が十分に行えない可能性がある。今後は、地域防災リーダー養成講座の充実を図りながら、女性の参加や若い方等に参加頂けるよう広報・普及活動を行っていく。



令和元年度扶桑町地域防災リーダー養成講座
避難所運営ゲーム(HUG訓練)



桑政クラブ

伊藤 猛 議員

青木川工事進捗状況は

答

事業計画の早期策定を県に要望

問 町道柏森高屋線工事は。

答 産業建設部長 現在

橋梁を架け替えるため、町道の迂回路を築造し、右岸側橋台の築造までを行う予定。令和3年度に左岸側橋台の築造及び護岸・排水樋管工事。令和4年度に橋桁の制作・架設及び町道復旧後、迂回路を撤去して一連の工事が完了予定である。

問 前利神社前までの工事計画は。

答 産業建設部長 現在

工事中の整備区間の進捗状況を踏まえ、その上流区間の着手時期を検討していくと愛知県から聞いている。事業計画の早期策定を引き続き機会あるごとに要望活動を行っていく。

青木川氾濫した時の対応について

問 青木川氾濫した時のお知らせは。

答 産業建設部長 『大



令和2年7月8日撮影(青木川)

雨道路冠水時「通行止」表示看板3ヶ所の上部に、赤色回転灯並びに、看板を照らす照明灯を設置している。夜間や休日において、早急に通止めの看板を設置することが難しいことから道路冠水状況にに応じてお知らせする電光掲示板の設置を検討していく。

問 青木川氾濫による被害状況とごみ清掃処理は。

答 産業建設部長 前利

神社から県道斎藤羽黒線

までの被害状況は、平成30年度は家屋の床上浸水1件、床下浸水4件、作業場の浸水1件。令和元年度は家屋の床上浸水2件、作業場の浸水1件。今年度は作業場の浸水が1件と乗用車の冠水被害が1件。青木川冠水後に、ガードレールの支柱等に残ったごみの処理は、町職員の方で清掃を実施しているが、地元斎藤地区の方々にもご協力のもと清掃していただいております。感謝している。

町内の狹隘道路について

問 緊急車両が通行できない町道の隅切りは。

答 産業建設部長 狹隘

道路は緊急車両等を含めて、通行しにくい状況であることは認識している。幅員が4 m未満の道路については、建物の建築、建替を行う場合、建築基準法の規定により指定を受けた道路に接する宅地は、原則その道路中心線

からそれぞれに2 mずつ後退した線が道路の境界線になるので、引き続き住民の方々にご協力をお願いしたい。隅切りの整備については、今後近隣市町の状況を見つつ、調査研究していく。

問 4 m未満の道路は。

答 産業建設部長 道路

後退した部分、セットバック部分を町へ寄付する場合、寄付する部分の面積を個人で確定した測量図面を基に、町が所有権移転を法務局に提出することにより、その部分は町道になる。寄付せず、町の所有にしない場合は、道路後退部分舗装申出書を町へ提出すれば、町で舗装整備を行いその部分の固定資産税の減免を受けられることができる。寄付する場合に生じる測量費等の負担については、近隣市町の状況を見つつ、かつ町財政を鑑み調査研究していく。



桑政クラブ
近藤 裕 議員

巾下用水下流域での 内水氾濫と今後の対策は

答

引き続き担当部署で治水対策を検討



局地的大雨による巾下用水の冠水状況

問 巾下用水下流域では毎年冠水被害を受けている。現況用水路の流速流量と雨水流出量の関係は。

答 産業建設部長 巾下用水の現況流下能力は、毎秒1・2mと示されている。雨水流出量に関しては、計画降雨を5年に一度の降雨強度式によると時間雨量52・4mmとなり、その条件下で算出した結果、巾下用水下流域ではピーク量が毎秒4・39mとなり流下能力を超

えることになる。

問 丹羽消防署北にある水門ゲートの開閉高さは。

答 産業建設部長 現況水路流下能力の毎秒1・2mを超え、同水門地点での水理計算から毎秒1・925mとなるゲート開閉高さ30cmとしている。

問 今後の対策は。

答 産業建設部長 本年度の高雄南公園内雨水貯留施設計画では巾下用水流域における浸水被害を

すべて解消することは難しいと考えている。

現在、新たな貯留施設整備計画はないが、町民が安心・安全に暮らせるよう、今後も引き続き検討していきたい。

「雨水貯留施設整備工事（高雄南公園）」の内容及び管理方法

問 施設の詳細と管理方法は。

答 産業建設部長 本工事では、高雄南公園の地下4mの深さに高さ2mのコンクリート製品を縦め連結し、最大貯留量773・6m³の貯留槽として埋設する。

問 地下水位が高いが、工事の完了検査内容は。

答 産業建設部長 貯留槽の内部に入り目視にて内部状況を確認し、継ぎ目などから地下水の流入の有無を確認する。

問 施設内水位の管理方法は。

答 産業建設部長 出力3・6kWのポンプを使用し、日常的な水位計確認にて運転管理する。

問 築造後の効果は。

答 産業建設部長 本施設から上流の1・47haの流域においては浸水被害を軽減できると考えている。

多機能児童館の建設

問 本年3月議会では児童館整備事業の予算が可決された。町長は議決された内容で予算を執行しなければならぬのでは。

答 町長 長と議会とは、それぞれ相互に独立した関係にあるが、長の権限に属する事務の管理及び執行に当たっては、議会の議決に配慮しつつも、自らの判断と責任において、事務・事業の内容を考慮し、最小の経費で最大の効果を挙げていかなければならないと考えている。

地域公共交通導入に向け 今後の予定は



無所属
矢嶋恵美 議員

答

令和4年度中の運行を目指す

問 新町長は、5月就任以降来年度予算編成に向けてこれまでどのような検討を進めてきたか。

答 総務部長 先進的に実施している市町を視察し提供方法などを検討。定期巡回するコミュニティバス、デマンド型（予約式）自宅発着型、停留所型、タクシー利用型等を研究し候補としている。既に検討会議を開催。視察結果、調査結果を基に継続検討していく。



（視察先事例 豊明市）
乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」

問 導入に向けての課題はあるか。

答 総務部長 予算確保の課題と利用しやすいサービスの提供とのバランスを考えたシステムが課題である。

問 協賛スポンサーを導入し、運賃以外の収入確保や利用者負担を抑えるために医療機関、薬局、スーパー、飲食等店舗や銀行等多岐にわたり協力をお願いできるのでは。

答 総務部長 エリア内

事業者からの協賛金、車両の広告ラッピング等手法の研究をしていきたい。

問 ニーズがあれば人だけでなく薬や商品などの配送も可能ではないか。

答 総務部長 薬や商品などの配送含め利用できるものについても研究していく。

問 今後導入に向け、どのように進めていく予定か。

答 総務部長 今後は、近隣市町の状況把握、タクシー助成券による移動状況把握、財源把握等一定の検討をして方向性を決めていく。また、並行して来年度に向けた地域公共交通会議の立ち上げの準備、計画案などについて意見調整、国への届け出、地元説明会等を経て令和4年度中の運行を目指していく。

問 保育園の使用済おむつ持ち帰りの改善を

現状の処理方法は。

答 健康福祉部長 1日の生活でおむつ替えは1人4、5回ほど、使用済おむつは個別に持ち帰ってもらうっている。

問 働く世帯の方が利用する保育サービスで保護者の負担が多く、保育士の仕事量も増え、感染症の心配もある使用済おむつ処理の持ち帰りの意義はあるか。

答 健康福祉部長 時代の変化、社会情勢の変化から使用後のおむつの処理方法も繰り返し使うものから廃棄する物へ変化している。感染症予防の見地からもその意義を改める時代になっている。

問 今後、園内処理の考えは。

答 健康福祉部長 保護者や保育者の負担等の現状・感染症などの課題も認識している。今後、園内処理について保管方法・処理方法など課題整理して検討する。



日本共産党
荒木孝三 議員

PCR検査は

必要に応じ指定医療機関で検査



新型コロナ相談窓口(江南厚生病院)

施設の感染症対策は

問 当町の現状は。

答 総務部長 公共施設

については、中央公民館
始め総合体育館、学習等
供用施設、図書館、文化
会館、総合福祉センター
などにおいて、発声を伴
う合唱、管楽器の演奏、
施設への入場制限や利用
制限などの感染症対策を
9月15日の火曜日まで実
施。

PCR検査は。

問 PCR検査は。

答 健康福祉部長 PCR

R検査は、県が実施する
業務で、江南保健所に設
置されている帰国者・接
触者相談センターが必要
と判断した場合に、指定
された医療機関の検査に
加え、令和2年6月から
は、唾液による検査も可
能となり、検査を行う環
境も変化してきている。
住民の方から発熱などの

症状があるがどうしたら
良いか、数日間微熱が続
いているがどうしたら良
いか、といった問い合わせ
については、江南保健
所の帰国者・接触者相談
センターにつなぎ、助言
可能な範囲において相談
をさせていただいている。
これからインフルエンザ
が流行する季節だが、こ
うした状況を踏まえ、10
月から予定しているイン
フルエンザワクチン接種
について、予防接種法に
基づく65歳以上の定期接
種対象者に積極的な呼び
かけを行い、感染の防止
に努めていきたい。

国民健康保険の均等割は

問 均等割というのは。

答 健康福祉部長 「均

等割」とは、医療費の給
付を受けられる人に比例
して、被保険者1人当た
り一定額を負担していた
だくものである。国の、
「国民健康保険における
納付金及び標準保険料率

算定について」というガ
イドラインにおいて、応
能応益の割合は「所得水
準が全国平均である都道
府県においては50対50と
なる」と示されることか
ら、割合の配分変更も基
本的に難しいものと考え
ている。

問 家族構成での違いは。

答 健康福祉部長 家族

構成での違いは、国保税
の課税所得200万円の
世帯における試算では、
両親と子ども1人の3人
世帯では、国民健康保険
の年額は26万4800円、
子どもが2人の4人世帯
では26万5800円、子
どもが3人の5人世帯で
は28万9200円と所得
が同じでありながら保険
税額は増えていく。減免
制度については被保険者
が失業などで収入が減少
した場合、所得割額や18
歳以下の方の2分の1を
減免する制度を設けてい
る。

住む人の安心への満足度を高めるには



扶桑新政クラブ

千田利明 議員

答

町民の立場で考え積極的立案と展開へ

問 平成28年11月に第5次総合計画策定のため、町民の行政に対する満足度の意識調査を実施している。その結果を見ると、福祉制度、地域環境、生涯学習、環境・住居生活は満足度が上回っているものの、行政経営の部門だけ不満足が上回っていることをどのように捉えているか。

答 総務部長 行政経営は、町民にとってあまりなじみがないものであり、もっと分かりやすい情報発信、情報の共有に努める必要があると考える。

問 昨今の職員の対応は良いとの評価もあるが、



意識改革の不満足評価をどのように考えるか。

答 総務部長 町民の対応が職員の対応をどう受け止めたかが重要で、真摯に受け止める意識改革をさらに進める必要がある。

問 住む人の安心感を高める施策を進める上で、常に公のサービス業として積極的に攻めの仕事をする必要があるのでは。

答 総務部長 多様化する町民のニーズに対応するためには、要望を受けてからではなく、町民の立場で考え、積極的に事業を立案し、展開して行く対応が満足度につながるものと考えている。

問 生活に関する負担軽減に配慮した案内や助成などについて、広報無線が無い人や、パソコンに疎い方たちに、広報やホームページ以外の方法で発信する考えは。

答 総務部長 学供など公共施設の玄関に掲示するなど、より多くの方に目にしていただくよう発信方法を工夫して行く。

問 役場の中も新型コロナウイルス感染による自粛から半年経過し活動が制約される中、運営に対するアンケート調査など、職員の変化への意識は。

答 総務部長 各部署で職員から広くアイデアを募り、効果的な事業について提案を出し合えるような雰囲気、仕組みづくりなど検討している。



職員の感染症に対する衛生管理の措置について

問 衛生設備、作業方法及び衛生状態に、有害の恐れがある場合への対応

措置マニュアルは。

答 総務部長 現状役場及び他の施設において措置マニュアルは無いが、必要な保守点検を実施し、衛生管理に努めている。

問 各学校や保育現場の感染症対策による現場の負担増の状況は。

答 教育次長 学校では授業後に職員が校内消毒を行い、保育園でも園児の帰宅後に、園内の消毒を日々行うことで感染への予防に努めている。小中学校の負担を少しでも減らすため、7月20日から校内の消毒や清掃を手伝うスクール・サポート・スタッフを各学校に1人配置している。



桑政クラブ
兼松伸行 議員

新防犯対策システムの導入は

答

新たな仕組みは犬山署と協議して進めていく

問 本町防犯対策の現況は。

答 総務部長 現在、啓発活動として、ひまわり

あんしん情報メールにて犯罪情報や不審者情報等を随時知らせている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせているが、犬山警察署と連携し特殊詐欺や住宅侵入盗について、各地区からの要望に応じて出前講座を実施している。また補助事業として扶桑町住宅対象侵入盗防犯対策補助金交付事業、扶桑町防犯カメラ設置費補助金交付事業を実施している。

問 防犯カメラ増設や設置補助金増額の考えは。

答 総務部長 現在、鉄道の3駅や交差点、学校や保育園その他公共施設の監視カメラを含めると79台ある。電気料・保守点検・修繕費等維持管理费用となり、その中に、耐用年数を超えるものも

ある。今後防犯カメラの更新も検討していかなくてはならず、増設する予定はない。

また防犯カメラ設置補助金交付事業は、平成28年度より18台分補助してきた。今年度も地区より相談があるが、補助金額にについても補助率・補助上限額の変更についての考えはない。

問 防犯対策の要としての交番増設の考えは。

答 総務部長 交番及び

駐在所については事件事故発生の状況等治安情勢に応じ管轄区域を分けて定める所轄ごとに置くものとし、町内には交番1カ所、駐在所2ヶ所設置されている。著しく治安情勢が悪化していくとは考えられないため、交番増設に向けての考えはない。

問 新防犯対策システムの導入は。

答 総務部長 ひまわりあんしん情報メールや広

報無線などでメール登録を行っていない方にも犯罪や不審者等、緊急性の高いものを広く周知することが必要と考える。新たな仕組みについては、犬山警察署と協議して進めていく。

問 防犯対策に対する町長の考えは。

答 町長 防犯対策については、町民の安全・安心な暮らし、生命及び財産を守るために欠かすことの出来ないものである

と認識している。住宅対象侵入盗防犯対策補助金について令和3年度まで期間限定を延長して実施していく考えである。また防犯カメラについても犯罪防止という面での効果は十分認識している。



柏森発展会設置の防犯カメラ

災害ごみの処理は



桑政クラブ
千田勝文 議員

答

災害廃棄物処理計画を策定する

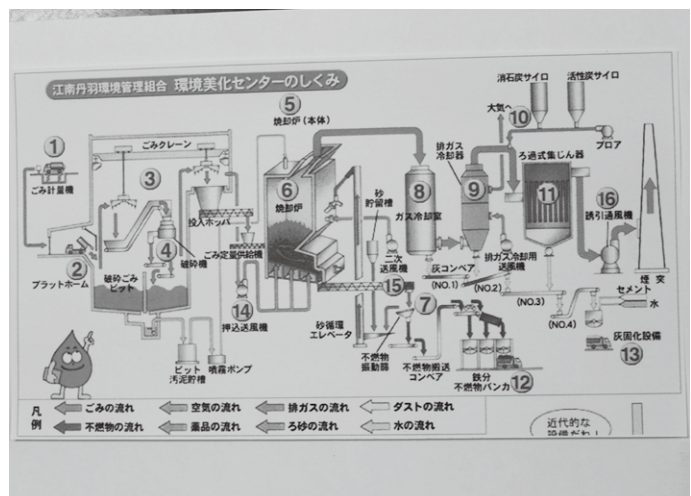
問 災害ごみの処理は。
答 産業建設部長 地震による大量の災害廃棄物の発生、台風や集中豪雨により河川の氾濫による災害リスクが高まっている。大規模災害時に発生する大量の災害ごみは事前に対策を講じておく必要がある。本年12月をめぐりに「災害廃棄物処理計画」が策定できるよう進めている。

問 レジ袋有料化は。
答 産業建設部長 レジ袋の有料化については、海洋プラスチック問題や地球温暖化などの解決に向けた第一歩として令和2年7月1日より施行された。レジ袋の削減は、愛知県が中心となり「こみゼロ社会推進愛知県民会議」の取り組みの中で、レジ袋削減について町内4店舗と協定を取り交わし進めている。レジ袋の辞退率は一部の店舗で、88%となっている。今後、削減に向けた取り組みを進める。

問 分別収集計画について。
答 産業建設部長 資源ごみ排出量の推移は、平成26年度1006・52tであったものが、令和元年度906・24tで、ごみ全体の排出量と同じく徐々に減少している。この要因は、包装の簡素化に加え、ペットボトルや食品トレーなどは店舗での回収が進んでいること、紙類や古着などは、民間の回収所設置などが考えられる。

問 中間処理の現状は。
答 産業建設部長 中間処理については、住民から回収した資源ごみは、町が指定する中間処理業者へ搬入し、適切に処理している。新ごみ処理施設では、廃プラスチック類は焼却処分の方で検討されているが、町では廃プラスチックを資源回収してあり、ごみ搬入を予定している2市2町で情報交換しながら検討を進める。

問 ごみ処理・分別収集の課題で、高齢者世帯のごみ出し支援については、特別交付税の措置が受けられるが検討することは。
答 産業建設部長 高齢者世帯へのごみ出し支援サービスについては、環境部門の単独事業とするのか、高齢者福祉部門のサービスの一環として実施するのか、今後、研究・検討する。



江南丹羽環境管理組合 環境美化センターのしくみ



日本共産党
高木義道 議員

児童館はどんな施設か

答

健全な遊び通じ
健康・情操を培う施設

問 原点に返り、児童館とはどんな施設なのか。

答 健康福祉部参事 児童遊園と同じ児童厚生施設で、児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操豊かにすることを目的とする施設と規定されている。児童館ガイドラインでは児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操を豊かにすることを目的とする施設としている。

問 建設の工程表は。

答 健康福祉部参事 令和2年度中に配置・平面計画を決め、令和3年8月末までに設計を完了する。令和5年オープンを目標とする。

問 巡回バス運行に向けて

答 先進事例の研究は。

答 総務部長 デマンド交通の導入と巡回バスとの連携をめざす東郷町の

民間企業と自治体で運行する乗り合い送迎サービス、停留所での乗降を行う実証実験を試みる豊明市を視察した。

問 今後の取組みはどのようなか。

答 総務部長 役場内の関係部署職員による検討会議、来年度立ち上げ予定の地域公共交通会議で運行方式・時間・ルート・利用料金・財源について検討し、計画の決定後には、法的手続き、住民への通知・説明準備を進め、令和4年度中の運行開始を目指す。

生活道路の安全確保は

問 工事後の道路修復はどんな対応状況か。

答 産業建設部長 上水道・下水道・都市ガスなど道路に管を埋設する道路占用工事は、埋め戻した部分の養生のために、すぐに舗装の本復旧をせず一定期間仮舗装し、道路開放している。従来の

舗装部分と仮舗装部分の継ぎ目に段差や陥没ができやすい状況になって、歩行者・自転車利用者に迷惑をかけている。段差や陥没が生じた場合には、速やかに対応するよう指導するとともに、舗装の本復旧の遅れがないよう注視していく。道路管理者が管理する箇所は、利用者に不便をかけないよう適切に対応する。

問 都市計画の中で、道づくりを計画的に進める構想はないか。

答 産業建設部長 生活道路の安全な道づくりは、段差や勾配等に配慮した整備をしている。安全対策として、側溝蓋のガタツキ、段差の解消、カーブミラーの設置、街路灯の設置、側溝の蓋かけなどを計画的に進める。これからの道づくりは、安全安心に出かけられる歩行空間、通行空間の確保を図り、歩行者・自転車利用者・子どもや高齢者などに配慮した道づくりを目指す。



道路占用工事(下水道)



公共施設

コロナ対策しながら開館しています (図書館編)



緩和する(利用できる)サービス

図書館利用(1時間以内)
インターネット端末の利用
新聞・雑誌の閲覧
視聴覚資料の閲覧
学習室の利用(2時間以内)



借りた本、返却した本
を60秒で殺菌消毒
できます。



タブレットでレファレンス(調べもの)も
できますよ。



玄関では、サーマルカメラが
体温を測ってくれます。



2階学習室利用は2時間以内で。
机と机の間には、職員の愛情こもった手作り
パーティションがしてあり、安心です ♥



お知らせ

みなさん
議会傍聴に
来てください



詳しくは議会事務局まで
TEL.93-1111 内線322

12月定例会の日程(予定)

12月1日(火)	開会・議案上程・提案説明
12月7日(月)	一般質問
12月8日(火)	一般質問
12月9日(水)	議案質疑・委員会付託
12月10日(木)	福祉文教常任委員会
12月11日(金)	総務建設常任委員会
12月18日(金)	委員長報告・討論・採決・閉会

場所: 扶桑町役場 2F議場
時間: 午前9時30分から
(日程は変更になることがあります)

「会議録検索システム」 インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会
議録をインターネット配信してい
ますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ

↓
扶桑町議会

↓
扶桑町議会
会議録検索システム

●9月定例会分は、
12月1日に更新を予定しています。

